

局長年報の討議等があり、菊川日本労働代表は局長年報の討議に参加した。
尙右總會に於て、滿場一致を以て米合衆國に對して國際労働機關への加盟招請が可決せられ、米國も又正式に國際労働機關への加盟が決定せられるに至つた。

理事會改選

國際労働局理事は從來二十四名であつたが、今回の改選に當つて三十二名に増員が行はれ、労働理事に就ては從來日本は鈴木文治氏が副理事であつたが、今回の改選に當つては、組合會議書記長米窪滿亮氏が労働正理事に選任を見た。

四、埃國労働階級犠牲者救援金の送附

第四回執行委員會に於て、オーストリのドルフス首相の白色テロの犠牲となり、千五百名の闘士を喪ひ、遂に解散全滅せる同國労働組合の犠牲者の家族並に避難者を救援する意味の寄附金送附の件が可決せられたので、書記局は五月二十三日邦貨百五十四(瑞西フランに換算百三十七法二十五仙)を在露府菊川労働代表に送附し、IFTU 總主事スケブネル氏に手交する様依頼せり。之に對し菊川代表は右金額に尙百五十圓を附加してスケブネル氏に手交せられた。

人事

一、役員の変更

全國労働組合同盟

執行委員、政治委員菊川忠雄氏に代つて河野密氏就任

評議員、監衡委員鈴木悦二郎氏に代つて、評議員に井上良二氏、監衡委員に山口常治郎氏就任

海員協會

執行委員尾崎藤太郎氏に代つて小泉秀吉氏就任。

二、常任書記

組合會議書記局の書記松田喬平氏辭任後、新に常任書記として上條愛二氏就任。

三、労働正理事

今回の國際労働局理事選舉に當つて米窪書記長は労働正理事に選任さる。

四、労働代表一行の歸朝

第十八回國際労働總會に出席の日本労働代表一行中、鈴木隨員は昭和九年八月九日、岩永顧問は九月三日、鈴木顧問は九月二十三日それぞれ無事歸朝せらる。